道州制の導入などについて意見交換 名が参加し、 交換会が2月 地方分権推進キ われました。 市民や行政関係者ら約 地方分権の現状と推進 4 日、 ヤラ 交流センター バン事業意見 30

の事務を対象に市町村への権限移譲県では、平成16年から104項目 を目的に秋田県が開催したものです。 住民生活に係るメリッ 広く意見交換し、 意見交換は、 住民や関係団体、行政関係者が幅 3生活に係るメリットなどについ国と地方の役割分担の在り方や見交換は、地方分権の進展に伴 理解を深めること

を進めており、 県全体の移譲率は37



▲地方分権の推進と道州制の導入について、 身近な課題などを意見交換しました

かせていただきたい」などとあいさつ。よい制度にするため様々な意見を聞制度について理解を深めていただき、 市 りをつくっていかなければならない。ようにするため、大きな流れとうね 興局長が「地方のことは地方ができる 限移譲が着実に進められてい 会議では、 の移譲率は73%で、 -成20年 藤田了次 北秋田地域振 県からの ・ます。

した。 が実現される展望について説明しま 地方分権改革の経緯と今後、 最初に、 県の担当者がこれまでの 道州制

財源も含め移譲される。きめ細か 譲により事務量が増えると思うが、 は今までより手早く、 の補修や河川堤防の除草、 があり、 町村では職員削減が進んでいる。 ると思う。 していました。 トについても市町村の現状や意見も 「事務移譲に係る財源と人的サポ 人的な支援はあるのか」などの質問 意見交換では、 いながら協議したい」などと回答 ービスを提供できるよう進めたい」 「身近なインフラの整備は そのような体制に」「市 参加者から「道路 効率的にでき 除雪など 移

員の配置人数や課班の名称等を協議

第18回北秋田市組織・機構改革推進検討委員会

権田 係る、 さを増す 置人数等を協議 進檢討委員会(委員長:佐藤副市 市の機構改革は、 18回北秋田 市役所-市組織・ しました。 機構改革推

市民生活、 ど行財政改革を進めることを目的に 本年4月に実施されます。 人件費の抑制、 現行の5部1事務所を総務、 健康福祉、 産業、

センターを設置。 支所を廃止し、 現在、 分庁舎に

П



▲機構改革に伴う職員の配置人数などを協議 した「市組織・機構改革推進検討委員会」

課や班の名称変更や職員の配 月に実施する市の機構改革に 中で、 事務事業の見直しな職員数の削減による 財政状況が厳し 大会議室で行 長 わ 転。分庁舎にある産業部、 ビス化を目指します。 は、 職員数の減少等により、 数等について、 用務ができるようなワンストップサ 度の手続きで住民が必要とする関連

6部に再編。 総合窓 建設の 財務

的な事務事業を進めてほし

い」など

られた人数の中で、無駄を省き効率

現行に比べて十

-分でない

と思う。

限

佐藤委員長は「各部課の、

配置人

検討を重ねてきたが

配置人数は

各課班の配置人数も示されました。 の変更点が説明されました。 イオマス推進室の創設等、 福祉課内と農林課内の班名変更、 を本庁総合窓口課内に置くことや、 とあいさつ。 その後、 事務局より 市民課の業務 前回から また、

バ

いるが、 員に連携と協力を求めました。 い」と新体制への移行にあたり より早く実施し 数をもとに、 問題を解決してもらいたい。 最後に「内容は、 関係部課が相互に連携して、 様々な想定外の事案がある 人事異動の 万全の準備をした 慎重に検討して 内示も例年 この人

定額給付金の交付総額は約6億1千万円と試算

岸部市長定例記者会見

ら会社として運営することは難しい季の営業とも赤字が減らないことか 機構改革などについて説明しました。 意したことを述べました。 圏や地元で受け入れ先を探すよう合 同社と北秋田市双方が協力 てはその意志が引き続きあるとして と告げられたこと、 る親会社の代表と会談し、 の営業に係る今後の方針、 阿仁スキ 岸部市長の定例記者会見が2月 岸部市長が同スキ 市役所で開かれ、 場については、 無償譲渡につい 阿仁スキ ー場を経営す 夏季、 新年度の 首都 月 28 冬 場

▲定例記者会見で阿仁スキー場の今後の運 営や定額給付金について話す岸部市長

0 職員数:553人(39人減) 部署数:6部19課3室 ◆定額給付金について 数と設置、 ◆新年度の機構改革について 次のとおりです。 を考えたいとしています。 北秋田市の交付対象者は約3万8 このほか説明のあった主な事案は 新年度実施する機構改革での職員 申し入れを受けた後、 会談の内容を踏まえた文書で 部署の数は次のとおり 交付総額は 今後の対応 0 0

約6億1 外国人:230人)で、 530人(日本人:3万83 ◆緊急雇用対策について 280万円と試算している

29

30

合意事項は、

近く会社側から市に

緊急雇用対策庁内連絡会議を設置し雇用調整への対策として、北秋田市雇用調整への対策として、北秋田市 目の緊急雇用対策本部会議で対応を 213人にのぼり、この日、 用調整や清算に伴う解雇は合わせて の情報をまとめたところ、 部を設置。 たことから、同日、緊急雇用対策本 製造販売会社の操業停止が確認され 30日には、 独自調査とハロー 綴子地区の繊維製品 企業の雇 第 1 ウー

市長日誌

◇1月16日~31日

への多号に系る住民説明会に出席(阿仁山村開発センター、阿16日(金)▽北秋田市米政策協議会に出席(市役所)▽阿仁病院の診療所 仁農村改善センター)

日(土)マ新春芸術文化協会交流会に出席(ホテル松鶴)

日(月)▽元鷹巣町議故佐藤嘉美氏の叙勲伝達式に出席(市役所)

20日(火)~22日(木)▽新年度予算査定を実施(市役所)

22日(木)▽鷹巣北都会新春懇親会に出席(交流センター)

26日(月)▽平成21年北秋田市議会第1 議会議員全員協議会(市役所)▽秋田フィンランド協会役員会に 出席(中央公民館) 回臨時会(市議事堂)▽北秋田

28日(水)▽阿仁スキー場の件でシティン27日(火)▽全国市長会理事・評議員合同 全国市長会理事・評議員合同会議に出席(東京都) 代表と面談(東京都)▽

鷹巣阿仁青年会議所新年会に出席(ホテ

松尾耕木

日(木)▽雪崩シンポジウム全国大会にパネ して参加(文化会館)

日(金)▽秋田内陸線再生支援協議会に出席 (阿仁支所)▽北秋田市建設業協会新年

会に出席(ホテル松鶴)

尹

▲雪崩シンポジウムのパネル ディスカッションで(1/29)

就農支援塾

■対象者 北秋田地域就農支援塾を開催 就農に関する技術研修会・ 新たに農業を始めたい方や農業法人に就職したい方を対象に 就農を希望する離職者/農業法人への就農希望者。る技術研修会・相談会を開催します。 します

2月23日(月)、 26日(木)、 3月3日(火)、 5日(木)

■開催日 ◎問合せ先(北秋田地域振興局農林部普及指導課☎62-1835業生産法人等の視察研修(て/野菜等の栽培技術について/就農認定や資金等について/農 容 北秋田地域農業の現状について/各種研修事業につ

広報きたあきた 21. 2. 16 8

9 広報きたあきた 21. 2. 16

分庁舎には財務部税務課が移

転

建設部は森吉

新設される総合窓口センタ

市民班と生活班で構成され、